

令和5年度 校長より ②

若葉萌ゆ枝から舞い散る桜を保護者とともに見上げながら、真新しい制服に包まれた新入生たちが正門をくぐり、昇降口へと足早に進んで行きました。白地に赤色のストライプが眩しく光る上履きが、一人ひとりに今日の門出をお祝いしているようでした。4月6日(木)、398名の新入生とその保護者の皆さんをお迎えし、第41回入学式を挙げていただきました。教職員、在校生一同、心より歓迎申し上げます。在校生も含め、生徒一人ひとりが満足いく学校生活となるように、引き続き教職員とともに取り組んでまいります。

入学式に先立ち、4月5日(水)に着任式と始業式を行いました。今年度は、新採用として4名、異動(専任・再任用・臨任)として8名の先生が着任されました。副校長も新たに着任し、職員室は活性化した雰囲気となりました。始業式では、私から今年度のテーマを「挑戦」として掲げることを生徒たちに伝えさせていただきました。生徒たちには、ポストコロナの時代を見据えた中での自分の生き様として捉えてほしいと思います。

例年、新年度がスタートするや否や、各競技種目における県大会地区予選や関東大会県予選が行われ始めます。そうした中、4月22日(土)・23日

(日)にはカルツかわさきにおいて、「令和5年度第70回関東高校剣道神奈川県予選」が開催され、3年生女子生徒が準決勝(8回戦)まで進出し、6月2日(金)から4日(日)まで千葉県千葉市で行われる関東大会に出場することが決定しました。剣道部はここ数年間のうちに団体で出場はありましたが、個人での出場はなく過去初めてのこととなります。立派な結果に心から敬意を表したいと思います。本大会での活躍も期待しています。また、他の運動部においても県大会へ出場を果たすなど、うれしい報告が多数届きました。大会は続きますが、体調を整え、自分の力が十分に発揮できることを願っています。頑張ってください。

ここ数年間はコロナにより実施も行先も不透明なまま計画されていた遠足でしたが、今年度は各学年の目的に合わせた遠足を計画して実施することができました。4月28日(金)、1年生が親睦を深めるためにマザー牧場へ、2年生が修学旅行事前学習のため羽田空港から都内自主行動へ、3年生が社会体験学習のため地元地引網漁へと出かけていきました。日頃から真面目に学校生活を送っている本校の生徒たちですので、いつもとは違う環境で仲間たちと楽しく過ごすことのできる遠足は、普段では気付けない自分や仲間の一面に気が付くことができる貴重な機会になったことと思います。沢山の仲間と心を触れ合わず豊かな経験を積み重ねながら、少しずつ自分の人格を成長させていってほしいと思います。

令和5年4月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆